「活動実績証明書の記入のしかた」について

中学校における学習活動以外の努力を、より正確に把握するためのものであり、次の項目について具体的な活動実績を記載する。出席状況以外は志願者本人が記入し、学級担任の確認を受ける。

a　特別活動（学校としての活動）【 本人記載 ／ 実績を証明するものの添付は不要 】

① 「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」「部活動」の４分野とする。
ただし、どの分野か判断の難しいものは、「その他」の欄に記入する。

② 分野ごとに３年間で最も良い活動実績を１つだけ記入する。

③ 特になければ「特になし」と記入する。

④ 大会名や成績は略さず正確に記入する。「団体・個人」の両方がある競技の場合は「団体・個人」の別も記入する。また、団体での成績についてはその大会での志願者の役割について記入する。

⑤ 実績を証明するものの添付は不要。

⑥ 「部活動」の分野で、記入できる成績がない場合は、部活動に関する「自己ＰＲ」を書くことができる。内容については、「所属する部活動においての役割」「その競技等での得意分野」「部活動で努力したこと」など自分の取り組みが分かる事柄を記入する。

b　校外活動（個人的な活動）【 本人記載 ／ 実績を証明するものの写し（Ａ４サイズ）を貼付 】

① 「社会活動（体育・文化・ボランティア）」と「資格」の２分野とする。

② 分野ごとに３年間で最も良いと思われる活動実績を１つだけ記入する。

③ 特になければ「特になし」と記入する。

④ 「社会活動」については、体育・文化活動では３年間継続して活動し、顕著な成果をおさめたもの。ボランティア活動では年数回以上かつ３年間継続して活動したものに限る。

⑤ 資格については中学校在籍中に取得したものに限る。

⑥ 「実績を証明するもの」の写し（コピー）をＡ４サイズ１枚で作成し、活動実績証明書の裏面にのり付けして提出する。複数枚ある場合は、判読できる範囲で縮小して１枚におさめてよい。「実績を証明するもの」とは「大会・コンクール・資格・活動等の正式名称」「志願者の名前」「その成績や活動への参加」などが証明できる書類のこと。

c　出席状況【 担任記載 】

① 指導要録で確認し、１～３年の学年毎に欠席や遅刻・早退が１度もない場合は「皆勤」と記入する。ここだけは学級担任に記入してもらう。

令和６年度入学者選抜前期募集

活 動 実 績 証 明 書

記入例

山梨県立富士北稜高等学校

富士北稜 中学校	志願者氏名	**北稜　太郎**

選抜区分	条件Ａ	条件Ｂ	※願書に記入した選抜区分に〇をつけること。

※別紙「活動実績証明書の記入のしかた」を参考にすること。

ａ　特別活動（学校の活動）【実績を証明するものの添付は不要】

分　野	該当学年	実　　績
学級活動	該当する学年を記入してください	**学級委員長(前期)/(後期)/(前後期)など**
生徒会活動		**生徒会長、生徒会書記、部活動の部長等**
学校行事		**校内強歩大会3位、学校として取り組んでいるボランティア活動等**
部活動		**①「南都留郡新人大会優勝(卓球団体)」「山梨県吹奏楽コンクール金賞」など部活動の記録を記載してください。** **②記入できる成績がない場合は、部活動に関する「自己PR」を書くことができる。内容については、「所属する部活動においての役割」「その競技等での得意分野」「部活動で努力したこと」など自分の取り組みが分かる事柄を記入する。**
その他		**上記4分野に該当しないと思われる実績はこちらに記入してください**

ｂ　校外活動（個人的な活動）【実績を証明するものの写し（Ａ４サイズ）を裏面にのり付けする】

分　野	該当学年	実　　績
社会活動	３年間継続したもの	**社会体育（クラブチームなど）、文化活動、ボランティア活動など個人で行っているもの**
資格		**英検、漢検、数検等(中学時代に取得したもの)**

ｃ　出席状況【担任記載：欠席や遅刻・早退が１度もない皆勤の場合は学年毎に「皆勤」と記入する。】

１年	皆勤
２年	
３年	皆勤

ａ

中学校名

校　　長　　職印

ここは担任の先生が記載します。「皆勤」でない場合は空欄のままで。